学校番号	２１５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	日本史探求 書き込み教科書（山川出版） 新詳日本史（浜島書店）、山川日本史一問一答(山川出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。
２．世界の国々の歴史や文化と日本の文化や伝統との違いを理解した上で、おたがいを尊重する姿勢を養う。
３．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
４．歴史的事象に対して「なぜ」という考えを持つ。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
「日本史についての基本的な知識」と「史資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
【思考力、判断力、表現力等】
社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて，我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の中で日本がどのように貢献していくか、主体的に考察する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできる。また、それを表現することができる。	日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始・古代	文化の始まり 農耕社会の成立	a：日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 b：小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c：日本列島における小国およびヤマト政権と中国・朝鮮半島などとの交流について考察することを通じて、古代の対外交流の実態を明らかにしようとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト
	古代	古墳文化の展開 飛鳥の朝廷	a：国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 b：中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト

2学期	古代	律令国家への道 平城京の時代 律令国家の文化 律令国家の変容	a：隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 b：文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 c：隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト
	古代	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	a：藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b：国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 c：国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト
3学期	中世	院政の始まり 院政と平氏政権	a：貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b：武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト

	中世	鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	a: 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 b: 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 c: 宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	定期テスト	ワークシート	行動観察 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度